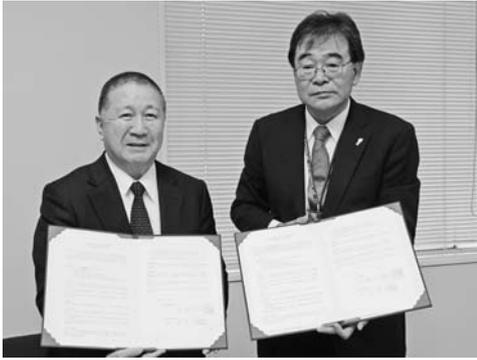


岐阜聖徳学園と 教育実習で連携協定

11月1日(火)、揖斐川町役場で、岐阜聖徳学園大学(岐阜市)と揖斐川町教育委員会による教育実習連携協定の調印式が行われました。

協定内容は、教育委員会が岐阜聖徳学園大学生の教育実習を受け入れ、大学は学童保育や学習指導などのボランティアで協力することになっています。

調印式には、岐阜聖徳学園大学の藤井徳行学長と野原靖教育長が出席。藤井学長は「教育現場で即戦力として活躍できる人材を育成するためには、実習が重要です。今後も皆さんのご協力をいただき、学生を育てていきたいと思えます。」と話されました。



▲協定書を交わした藤井学長(左)と野原教育長(右)

岐阜県重要無形民俗文化財 春日の太鼓踊り

11月5日(土)と6日(日)の2日間、岐阜県重要無形民俗文化財に指定されている春日の太鼓踊りが、寺本地区にある六社神社で行われました。

寺本地区の太鼓踊りは、竹に色鮮やかな飾りをつけたバンバラを背負って左右に揺らし笛や鉦、唄を歌う人と共に踊ります。寺本の太鼓踊りは、他の地区に比べて太鼓を打つ姿勢が腰を引いた低い構えが特徴で、衣装は上下とも色柄の派手なものを着用します。

踊り手の中には、「バンバラ」を背負う小学生や小さな太鼓を抱える子どもたちの姿も見られました。歴史と伝統のある春日の太鼓踊りは地域住民が一体となって受け継がれています。



▲六社神社での寺本太鼓踊り

環境保護活動に感謝状

清水小学校・久瀬小学校

11月8日(木)、環境保護活動に尽力した清水小学校と久瀬小学校に郷土の環境を守る会(会長 細江茂光)から感謝状が贈られ、揖斐川町役場で伝達式が行われました。

清水小学校は、5年生29人が中心となって、アイガモ農法による稲作を手がけており、農薬をなるべく使わない取り組みが評価され、久瀬小学校は、全校児童31人が徳山ダム上流に植える実のなる木の苗木を栽培。また、桜の木を育てたり、アサガオで緑のカーテンを作ったりした。伝達式に訪れた児童の代表は「今ある豊かな自然を大切にすることが大事だと思えます。」と話していました。



▲感謝状受賞おめでとうございます

地域を明るく華やかに！ 商工会女性部が活躍しています

20年以上前から商工会女性部の皆さんが行なっている花いっぱい運動が、今年も行われ、いびがわマラソンのメイン会場やゴール会場でも多くのランナーを迎えました。マラソン終了後には、鉢植えの花を養老鉄道揖斐駅、尚和園、揖斐警察署、揖斐川健康広場、揖斐川町役場などへ配布されました。

揖斐川町商工会女性部の市田セツ子部長は「伝統のあるいびがわマラソンの会場を花で飾り、ランナーをおもてなしできたのではないかと思います。明るい年末年始を迎えるためにも町内各所に花を飾って、地域の活性化につなげていきたいです。」と話されました。



▲商工会女性部の活動が町を元気にしてくれます

岐阜県ユネスコ協会青少年クラブ
国際賞受賞
～坂内小中学校～

11月16日(水)、坂内小中学校が岐阜県ユネスコ協会青少年クラブ国際賞を受賞し、坂内小中学校体育館で表彰式が行われました。

坂内小中学校は、1円と5円を募金する「一五募金」に約15年前から取り組み、集めたお金は、学校教育を受けられない世界の子どもたちを支援するユネスコの「世界寺子屋運動」へ寄付しています。地域の行事でも住民に協力を呼び掛けるなど、地道な活動が評価されました。

生徒会長の重綱祥平さんは「坂内のような小さな学校でも活動を続けければ大きな力になる。」と話しました。



▲受賞おめでとうございます

乙原農産物販売施設
安全祈願祭

11月21日(月)、乙原地区に整備される農産物販売施設の新築工事安全祈願祭が行われました。

新たに整備される販売施設は、国道303号と主要地方道山東本巢線の交差点付近に整備され、平成24年3月完成予定。地域の農家が育てた新鮮な野菜などを販売します。木造平屋建の面積約75平方メートルで、休憩所としても利用できるように公衆トイレも整備されます。

安全祈願祭には、関係者ら約40人が出席。神事後、宗宮町長は「観光客が気軽に立ち寄れる施設になるように、地域住民で活用してほしい。」とあいさつしました。



▲工事の安全を願いました

更生保護事業関係者
表彰報告会

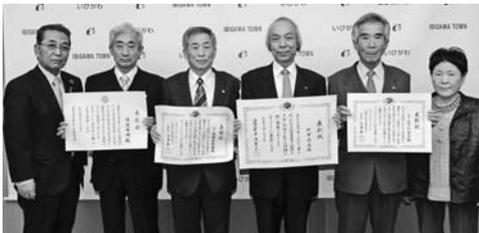
11月17日(木)に岐阜市文化センターで開催された「平成23年度岐阜県更生保護事業関係者顕彰式典」で、保護司として永年の功績が顕著で、他の模範となられる方々が表彰を受けました。受賞者は次のとおりです。

○法務大臣表彰
竹中治通さん

○中部地方更生保護委員会委員長表彰
高橋克昌さん、廣瀬喜與藏さん
五十川保彦さん

○中部地方保護司連盟会長表彰
小森くみこさん、波辺康博さん
岐阜保護観察所長表彰
矢野義己さん

○薬物乱用防止指導員県知事表彰
広瀬喜與藏さん、五十川保彦さん



▲受賞報告会に訪れた皆さん
受賞おめでとうございます

まちづくり活動
成果報告会開催

11月24日(木)、谷汲サンサンホール(谷汲名礼)で「まちづくり活動成果報告会」(岐阜県主催)が開催され、まちづくり支援のために県がチームを派遣している県内6地区(揖斐川町谷汲・飛騨市宮川町種蔵・郡上市白鳥町石徹白・土岐市駄知・下呂市馬瀬)の活動成果が報告されました。

揖斐川町からは、谷汲門前街並みづくり委員会の今村博正委員長が出席。地域活性化のための景観整備やお十七夜コンサートなど各種イベントの実績を紹介し、「今後もおもてなしと癒やしの心で発展していきたい。」と話しました。また、各地区の特産料理の試食会や谷汲山参道のウォーキングも行われました。



▲まちづくり活動報告会の様子

秋の城台山公園と揖斐川の町並み
ウォーキング

11月26日(土)、秋の城台山公園と揖斐川の町並みウォーキングが行われ約350人が参加しました。

この催しは、町の自然や歴史を巡り、揖斐川の町並みで魅力を再発見することを目的として行われています。

スタート・ゴール会場は、揖斐川町役場で、参加された皆さんは、全長約7キロメートルのコースを楽しみました。この日は、爽やかな秋晴れで、参加者は美しい景色を背景に記念写真を撮っていました。

150枚限定の伝統的なカチン染め体験やコース上に設けられた、いび茶や豚汁、甘酒などのサービスコーナー、三輪神社でのおみくじ無料サービスなど参加者は秋の揖斐川町を満喫しました。



▲カチン染め体験の様子

土砂災害合同防災訓練
大規模土砂災害に備えて

11月27日(日)、揖斐川町役場で直下型地震による大規模災害を想定したロールプレイング方式の訓練が行われました。訓練には、国土交通省、岐阜県、揖斐川町、揖斐建設業協会など約130人が参加しました。

今年5月に改正された土砂災害防止法では、大規模な土砂災害が発生した場合は、国や県が緊急調査・情報提供し、市町村が住民に避難指示することが定められています。

災害時には拠点となる揖斐川町庁舎3階に災害対策本部を設置し、刻々と変化する報告を受け、各機関の職員が地図などを見ながら応急対策や住民への避難勧告などを検討し、関係機関への協力要請など、それぞれの役割を確認しながら訓練に取り組みました。



▲直下型地震を想定した訓練の様子

総務大臣表彰受賞
揖斐郡消防組合消防本部

3月11日に発生した東日本大震災において、未曾有の大災害に見舞われた中、緊急援助隊が全国から被災地に駆けつけました。そこで、自身の危険を顧みることなく全力を挙げて人命捜索などの活動に尽力し、特に顕著な功績があった消防本部等に総務大臣表彰が授与されました。

11月28日(月)に、総務大臣表彰を受賞した揖斐郡消防組合消防本部の隊長として被災地での活動に従事された消防隊員が受賞報告に揖斐川町役場を訪れました。

宗宮町長は「皆さんの活動を大変誇りに思います。これからは、地域の住民に災害から身を守るためには何が必要かを伝えてほしい。」と受賞をたたえました。



▲報告に訪れた揖斐郡消防組合消防本部の皆さん

河川工事を考える会

11月29日(火)、丸山井水親水公園(上南方)で、平成23年度第3回河川工事を考える会(代表 國枝久夫)の集会が開催されました。

河川工事を考える会は、揖斐郡内の建設業者が会員の大半を占め組織され、水生生物の保護に配慮した工法で河川工事を行い、生態系保全に取り組んでいます。今回の集会では、水生生物分類技能検定試験が行われました。検定内容は、あらかじめ用意された桂川に生息する貝類・魚類・水生昆虫類・水草類・両生類・絶滅危惧種(魚類)を分類するものです。検定に合格された方は、小学校の総合的な学習の時間などで、生態系保全や水生生物の学習などで講師として活躍されます。



▲水生生物分類技能検定試験の様子

秋の叙勲(旭日双光章)受章

秋の叙勲で旭日双光章を受章された中野治さん(西横山)が11月4日(金)に受章の報告で揖斐川町役場を訪れました。

中野さんは、昭和42年4月から平成3年4月までの間、6期24年の永きにわたり、藤橋村議会議員として在職され、昭和61年の旧徳山村との合併時には議長として調印に署名するなど、議会の円滑な運営に尽力されました。また、道路整備や産業振興、生活環境の整備などにも多大な貢献をされました。これらの功績が認められ、今回の叙勲の受章となりました。中野さんは「住民の皆さんのおかげで多くの仕事ができました。」と話されました。

受章おめでとうございます。



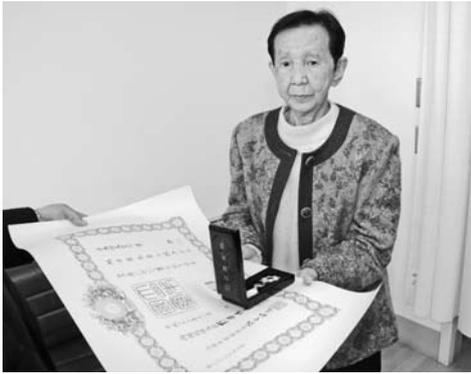
▲受章報告に役場を訪れた中野さん

叙勲(旭日単光章)受章

11月28日(月)、旭日単光章を受章された勇勝さん(坂内川上)に宗宮町長より伝達が行われました。

勇さんは、昭和54年4月から平成7年4月までの4期16年の永きにわたり坂内村議会議員として在職され、その間、議長を4年間、副議長を4年間歴任し、議会の円滑な運営に尽力されました。また、農業振興や社会教育施設の充実などにも多大な貢献をされました。これらの功績が認められ、今回の叙勲の受章となりました。

なお、勇さんは、叙勲伝達日の午後お亡くなりになりました。多大な功績に対し、敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りします。



▲叙勲の伝達が行われました
(写真は、代理受章された妻としゑさん)

叙勲(旭日単光章)受章

9月20日(火)に亡くなられた高橋幸さん(谷汲徳積)が旭日単光章を受章され、宗宮町長よりご親族へ伝達が行われました。

高橋さんは、昭和60年9月から平成13年8月までの4期16年の永きにわたり谷汲村議会議員として在職され、議長を2年間、副議長を1年間歴任し、議会の円滑な運営に尽力されました。また、観光や福祉事業、情報政策の推進などにも多大な貢献をされました。

これら生前の功績が認められ、今回の叙勲の受章となりました。この多大な功績に対し、敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りします。



▲叙勲の伝達が行われました

鮮やかな紅葉に彩られ
谷汲・横蔵寺もみじまつり開催

11月13日(日)に谷汲山門前駐車場で、谷汲もみじまつりが、11月20日(日)には、横蔵寺もみじまつりが開催され、多くの観光客で賑わいました。

谷汲もみじまつりは、いびがわマラソンと同じに開催され、いびがわマラソンメイン会場からのお客も多く、勇壮華麗な舞で全国的にも有名な谷汲踊やよさこいソーラン、特産品販売、バザー、餅まきなどを楽しみました。

美濃の正倉院とも呼ばれ、紅葉のスポットとしても有名な横蔵寺の境内で開催された横蔵寺もみじまつりは、あいにくの雨模様でしたが、見ごろを迎えた紅葉を求めて訪れた多くの観光客が、秋の彩りの中、和太鼓演奏や、ステージイベント、バザーなどを楽しんでいました。



▲横蔵寺もみじまつりの様子

**木質バイオマスエネルギー利用
施設建設工事安全祈願祭**

12月1日(木)、いび川温泉藤橋の湯と久瀬温泉白龍の湯で木質バイオマスエネルギー利用施設建設工事の安全祈願祭が行われました。(平成24年3月完成予定)

現在の、灯油を利用したボイラーから木質燃料(ペレット)ボイラーを導入することにより、灯油の約90パーセントをペレットに転換し、燃料調達費の削減を図り、年間200〜400トンの二酸化炭素の削減が可能となり環境への負荷が軽減されます。

神事後、宗宮町長は「地球温暖化など環境問題に取り組みながら温泉を拠点として観光振興に努めていきたい。」と話しました。



▲久瀬温泉白龍の湯での神事

揖斐高原スキー場安全祈願祭

12月1日(木)、揖斐高原スキー場(日坂)でシーズン中の積雪と安全を祈願する神事が行われ、財団いびがわ、地元関係者、町関係者ら約30人が出席しました。

財団いびがわの小森理事長は「昨年は小中学生のリフト無料化を実施し、ファミリーゲレンデとして多くのお客を迎えました。今年も安全対策を万全にしていきたい。」とあいさつされました。

宗宮町長は「町の冬の観光スポーツとして、多くの方に楽しんでもらいたいと思います。地元の皆さんのご協力をいただきながら、安全第一でお客様を迎えたいと思います。」と話しました。



▲スキー場の積雪と安全を祈願しました

飲酒運転根絶運動
〈交通安全啓発活動〉

12月1日(木)、揖斐警察署駐車場で、揖斐警察署員、交通安全ボランティアなど約50人が参加し、飲酒運転根絶運動に対する啓発活動出発式が行われました。

また、揖斐警察署駐車場には、飲酒運転根絶を訴える内部照明式の大看板を備えたサインカーが設置されました。

12月は飲酒運転根絶強化月間で、飲酒運転の指導取締り、飲酒運転根絶ポスターの掲示などによる啓発活動を実施しました。

揖斐警察署の石原署長は出発式で「飲酒運転は非常に悪質な違反です。地域の皆さんで飲酒運転根絶に取り組み、未然に防ぐことが重要です。」と話しました。



▲飲酒運転根絶運動出発式の様子

第8回いび地域環境塾
〈大根の収穫〉

11月12日(土)、いびがわミズみずエコステーション体験農場(極楽寺)で、大根の収穫が行われました。

この農場は、生ごみを再利用した堆肥が利用されています。

揖斐郡内のNPO法人で構成するいびNPO法人連絡協議会が開催する第8回いび地域環境塾には揖斐郡内の親子約40人が参加しました。

今回収穫した大根は、9月10日(土)に参加者が種まきをしたものです。

前日に降った雨で足元はあまりよくありませんでしたが、子どもたちは一生懸命に大根を引き抜いています。

参加者は「どろんこになったけど、大根を抜く感触が楽しかったです。」と話していました。



▲約2000本の大根が収穫されました